

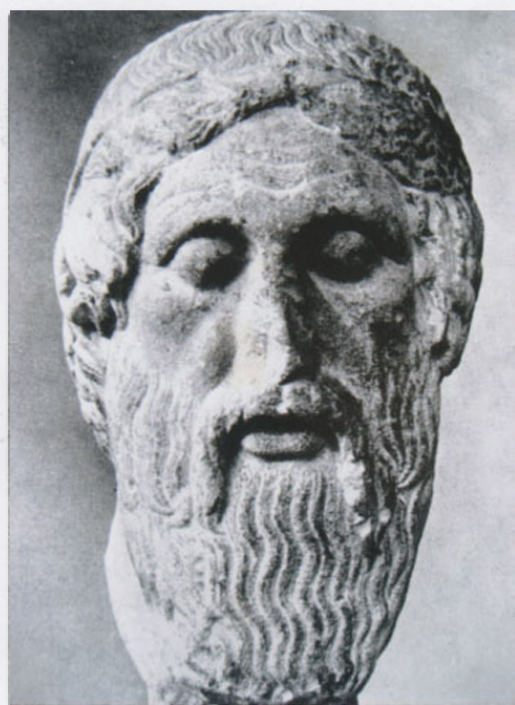


### トロイ遺跡

トルコにはたくさん  
の遺跡がある。中でも  
トロイ遺跡は、その発  
見が特別な歴史を持つ

ている。  
すなわち、もしホメ  
ロスの叙事詩「イーリ  
アス」と「オデュッセ

イア」がなかったとし  
たら、トロイの遺跡の  
存在は全く知られな  
ったかもしれない。  
紀元前八世紀ごろに  
活躍したと言われる古  
代ギリシャの吟遊詩人



古代ギリシャの吟遊詩人、ホメロス

|| 「世界文学大系から」

事詩の中

にトロイ戦争のことが  
描かれていた。  
神話と伝説に彩られ  
たトロイ戦争は紀元前  
一一五九年から十年  
間、エーゲ海を挟んで  
ギリシャとトロイの間  
で一人の女性を巡って  
争われた。  
ホメロスが書いたと  
言われる叙事詩を読ん  
で感動し、その実在を  
確信した男が、前 intro  
紹介したシュリーマンで  
ある。

しかし、ホメロスの  
叙事詩に心を動かされ  
たのは彼だけではない。  
トロイ遺跡の場所を最  
初に予測したのは、イ  
ギリスの駐チャナッカレ  
領事のカルバートとい  
う人物であった。  
シュリーマンはホメロ  
スの叙事詩を何度も読  
み返し、カルバートの予  
測した地から五\*余り  
離れた現在のチャナッカ  
レ付近と考えた。  
シュリーマンが発掘  
に取りかかったのは一  
八七〇年。たくさんの  
作業員を雇い、本人も  
来る日も来る日もツル  
ハシとスコップで地下

に向かつて何日も掘り  
続けた。しかし、それ  
らしきものは発掘でき  
ない。  
すでに遺跡の一部を  
発掘したというカルバ  
ートから直接、話を聴  
き、トロイ遺跡はカル  
バートの言う場所だと  
考えを改め、その土地  
を買い求め、発掘を続  
行した。  
シュリーマンが予測  
した地点と五\*も離れ  
ていたのは、実はホメ  
ロスが叙事詩を書いて  
から二千年を超える年  
月が地形を変化させて  
いたからである。  
もともとトロイはエ  
ーゲ海に面した所にあ  
ったが、二本の川によ  
って運ばれて来た土砂  
で肥よくな広野が生ま  
れ、トロイは十九世紀  
には海岸から五\*も内  
陸に存在するようにな  
っていたのである。  
発掘を始めて三年、  
一八七三年、彼はトロ  
イの宝を発見した。  
私は彼を誤解してい  
た。

シュリーマンは宝物  
を求めて発掘していた  
のではなく、宝物はた  
またまの結果である。  
シュリーマンは発掘に  
よって、トロイ戦争が  
実際にあった場所であ  
る証拠を見つけようと  
していたのである。  
城壁あり、住居あ  
り、市議会議場あり、  
音楽堂(オデオン)あ  
り、貯水槽がある。ト  
ロイの宝物はそのひと  
つに過ぎない。  
トルコ巡礼から帰国  
し、改めてシュリーマ  
ンの自伝「古代への情  
熱」を読む。夜も眠れ  
ないほど心が踊る。  
地中に埋もれている  
トロイの実在を確信  
し、当時は空想上の産  
物とされていたホメロ  
スの事跡をひたすら求  
める姿と、巡礼者の姿  
が重なって見えたので  
ある。  
(元山口放送取締役ラ  
ジオ局長)



屋根つきの音楽堂跡

この叙 事詩の中